

「動画配信の危険性について」

近年、自分が撮影した動画をインターネットで配信できるサービスが人気を呼んでいます。

中には、専用の機材や特別な設定などもいらず、スマートフォンさえあれば動画配信を始めることができるサービスもあります。そうした手軽さから、友達と遊んでいる様子や家での日常の様子を配信する児童生徒たちも増えています。

しかし動画配信が身近なものとなった反面、問題のある動画を配信している児童生徒が増えているのも事実です。

【過激化する動画配信】

TwitterなどのSNSで、児童生徒たちが不適切な行為に関する投稿をおこない、問題になることがあります。動画サービスでもこうした例が出ています。

例えば、飲酒や喫煙を行っているものや、コンビニや電車内などの公共の場で友達とふざけて迷惑行為をしているもの、学校の授業の様子をリアルタイムで実況しながら撮影しているものなどが配信されています。

また、自宅で入浴している様子を自ら撮影するなど、性的な要素を含む動画を配信しているケースもあります。こうした行為がエスカレートして、自ら裸を見せてしまうような児童生徒もでてきます。

【なぜ問題のある動画を配信するのか】

児童生徒の多くは、「いろんな人とつながりたい」「もっと多くの人に自分のことを認めてほしい」といった動機で動画配信を行っているようです。しかし、ありきたりな内容の動画を配信するだけでは、視聴者数も伸びず、コメントもあまり残してもらえない。そこで、多くの人に見てもらうために、露出を増やし、過激な行為をし、動画の内容がエスカレートしていくことがあるようです。

特に女性配信者の場合は、わいせつ目的で近づいてくる男性が少なからずいます。こうした人物とやりとりしているうちに、言葉巧みに過激な露出へと導かれ、自分の裸をリアルタイムで配信してしまうケースもあります。

【問題のある動画を配信する危険性を理解させることが必要】

こうした動画が配信されると、多くの非難のコメントが集まるだけでなく、配信した動画を録画され拡散されてしまう恐れもあります。掲示板やまとめサイト※などには、不適切な動画やそれに関連した情報などが集められています。そうした中には、名前や学校名、住所などの個人情報まで特定されてしまい、動画と一緒に掲載されている児童生徒もいます。「後で消せば大丈夫だろう」と気軽に配信した動画が見知らぬ第三者に保存され、一生消えずにインターネット上に残り続けてしまう可能性があるのです。児童生徒には、そうした事実を理解させ、問題のある動画は絶対に配信しないよう指導することが大切です。

※まとめサイトとは……特定のニュースや話題をテーマとして、それらに関連したインターネット上の情報を集めたサイト